

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U) 平2-140410

⑬ Int. Cl.<sup>9</sup>

G 01 D 5/18  
5/14

識別記号

L  
H

庁内整理番号

7015-2F  
7015-2F

⑭ 公開 平成2年(1990)11月26日

審査請求 未請求 請求項の数 3 (全2頁)

⑮ 考案の名称 位置検出器

⑯ 実 願 平1-50490

⑰ 出 願 平1(1989)4月27日

⑱ 考 案 者 富 永 竜 一 郎 福岡県北九州市八幡西区大字藤田2346番地 株式会社安川電機製作所内

⑲ 出 願 人 株式会社安川電機製作所 福岡県北九州市八幡西区大字藤田2346番地

⑳ 実用新案登録請求の範囲

- 1 磁気検出素子を可動部または固定部のいずれか一方に備え、永久磁石を他方に備えた位置検出器において、前記永久磁石を両磁極の方向が移動方向に対し直角になるように配置し、両磁極の中間の位置で、かつ非磁性板に垂直な平面上に前記感磁面を配置し、前記非磁性板を感磁面と平行な方向に前記磁気検出素子と相対的に位置を変化しうるようにした位置検出器。
- 2 前記磁気検出素子の感磁面と垂直に設けられた非磁性板上に二つの前記永久磁石を磁極面が異極になるように適宜間隔離して固定した請求

項1記載の位置検出器。

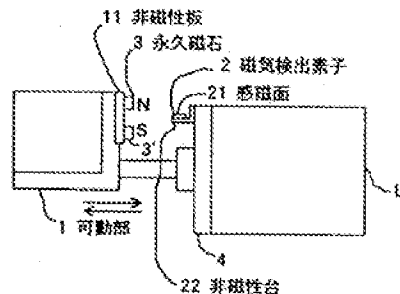
- 3 前記永久磁石にネオジウム、鉄、硼素系の磁石を使用した請求項1または2記載の位置検出器。

図面の簡単な説明

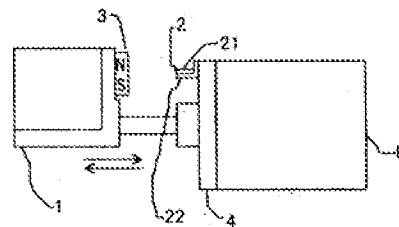
第1図は本考案の実施例を示す側面図、第2図は他の実施例を示す側面図、第3図は変位と磁束密度の関係図、第4図は従来例を示す側面図である。

1……可動部、11……非磁性板、2……磁気検出素子、21……感磁面、3、3'……永久磁石、4……固定部。

第 1 図

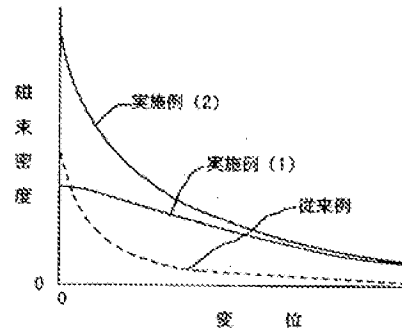


第 2 図



実開平2-140410(2)

第 3 図



第 4 図

